

9. グラフで見る2000年のデータ

2000年の登録例の解析結果のまとめ

1. 良性腫瘍の部位別割合

1) 男性に関して：

- ① 良性腫瘍の中で最も割合の大きいのは、結腸（67.6%）であり、以下、直腸（7.3%）、胃（7.0%）、皮膚（6.8%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた良性腫瘍（殆どが腺腫）が74.9%を占めているが、経年的には、1996年75.3%、1997年77.2%、1998年76.1%、1999年76.4%であり、大きな変化はみられない。

2) 女性に関して：

- ① 良性腫瘍の中で最も割合の大きいのは、結腸（34.2%）であり、以下、子宮体部（19.1%）、皮膚（14.0%）、卵巣（7.5%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた良性腫瘍（殆どが腺腫）の割合は38.2%であり、経年的には、1996年36.3%、1997年36.3%、1998年38.3%、1999年36.3%であり、大きな変化はみられない。
- ③ 子宮体部の良性腫瘍（殆どが平滑筋腫）の割合は19.1%であるが、経年的には、1994年24.1%、1995年21.5%、1996年21.7%、1997年21.3%、1998年20.5%、1999年19.9%と、減少傾向がみられる。

2. 悪性腫瘍の部位別割合

1) 男性に関して：

- ① 悪性腫瘍の中で最も割合が大きいのは、胃（25.1%）であり、以下、結腸（17.3%）、前立腺（8.8%）、肺（8.6%）、直腸（8.5%）の順である。
- ② 結腸と直腸を合わせた悪性腫瘍（大腸がん）の割合は25.8%と最も大きい。1995年に胃の占める割合を上回って第1位となったが、経年的には、1996年29.6%、1997年30.3%、1998年28.7%、1999年26.4%と、減少傾向がみられる。
- ③ 胃の悪性腫瘍の割合は25.1%であるが、経年的には、1996年27.9%、1997年24.8%、1998年24.6%、1999年25.7%と、減少から横ばいとなっている。
- ④ 前立腺の悪性腫瘍の割合は8.8%であり、経年的には、1996年5.7%、1997年5.7%、1998年6.5%、1999年7.9%と増加傾向は明らかである。
- ⑤ 肺の悪性腫瘍の割合は8.6%であるが、経年的には、1996年6.1%、1997年7.0%、1998年7.4%、1999年7.9%と増加傾向は続いている。
- ⑥ 肝臓の悪性腫瘍の割合は3.4%であり、経年的には、1996年3.9%、1997年4.2%、1998年4.0%、1999年4.0%と、近年はほぼ一定である。

2) 女性に関して：

- ① 悪性腫瘍の部位別の割合をみると、昨年2位であった乳房（15.9%）が胃（15.7%）を抜いて1位となり、結腸（14.5%）が昨年と同じく3位を占める。子宮頸部（8.4%）、直腸（6.7%）、肺（4.6%）がそれに次ぐ。結腸と直腸を合わせた悪性腫瘍（大腸がん）の割合は、21.3%と最も大きい。

3. 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

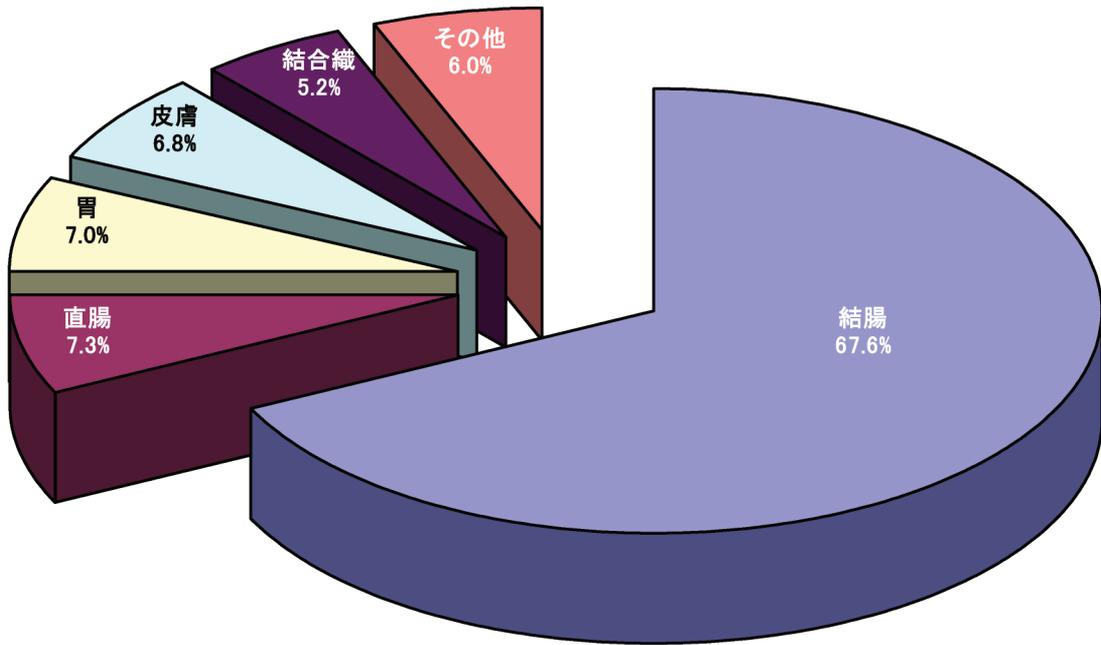
- 1) 男性では、胃がんの割合は、備北（33.2%）と呉（27.6%）で大きく、結腸・直腸がんの割合は、備北（29.6%）で最も大きい。前立腺がんの割合は、備後（10.2%）で最も大きい。肺がんの割合は、呉（9.9%）で最も大きい。
- 2) 女性では、乳がんの割合は、広島（16.3%）で最も大きく、備北（9.7%）で最も小さい。胃がんの割合は、備北（25.0%）で最も大きく、備後（14.2%）で最も小さい。結腸・直腸がんの割合は、備北（25.0%）で最も大きく、広島（21.6%）で最も小さい。

4. 広域医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の人口10万人あたりの登録数（登録率）の比較

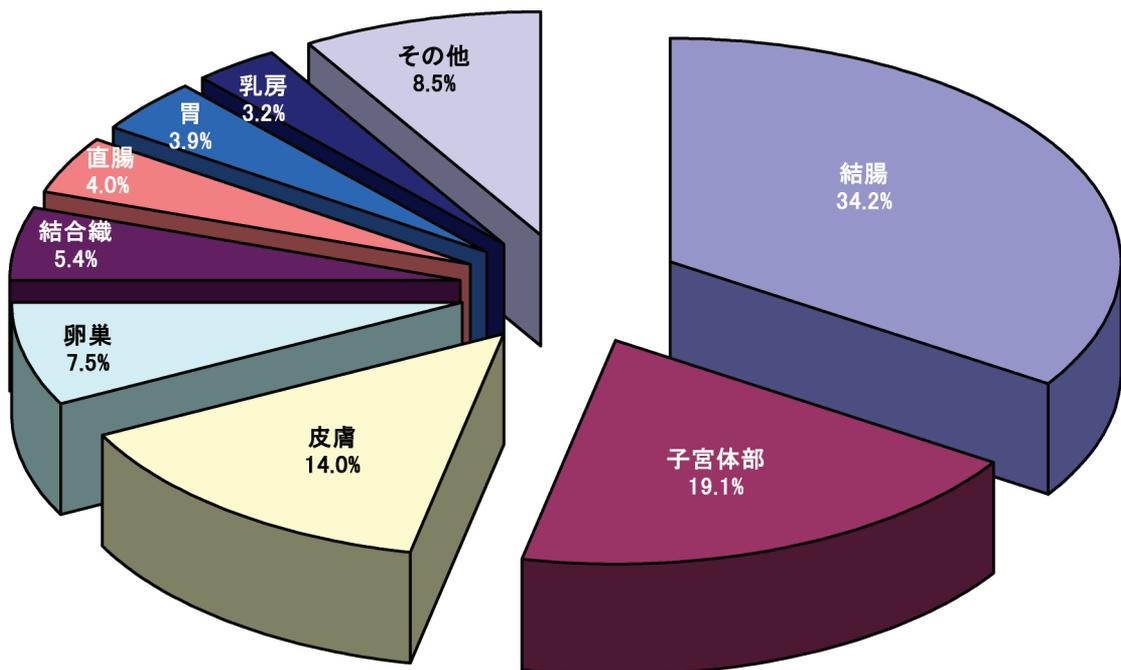
- 1) 全部位で見ると、備後の登録率が低く、他3地域の約1/3－1/2である。この状況はこれまでと変わらない。
- 2) 広島・呉・備北の3広域医療圏を比較すると、男性では、胃がんは呉で、結腸・直腸がんは広島と呉で、前立腺がんは広島で、肺がんは呉で登録率が高い。女性では乳がん、胃がんは広島で、結腸・直腸がんは広島と呉で、子宮頸がんは広島で登録率が高い。

(1) 良性腫瘍の部位別割合

(男性、2000年)



(女性、2000年)



(1) 良性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合（2000年）

（男性）

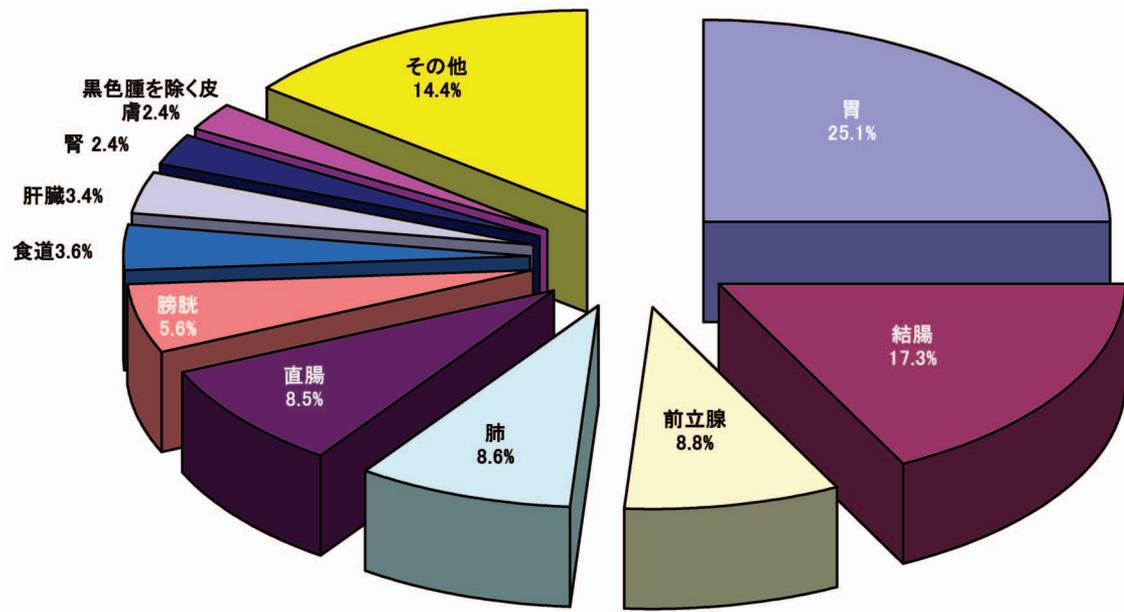
	登録数	割合（%）
結腸	4,920	67.6
直腸	529	7.3
胃	507	7.0
皮膚	497	6.8
結合織	380	5.2
その他	440	6.0
合計	7,273	100.0

（女性）

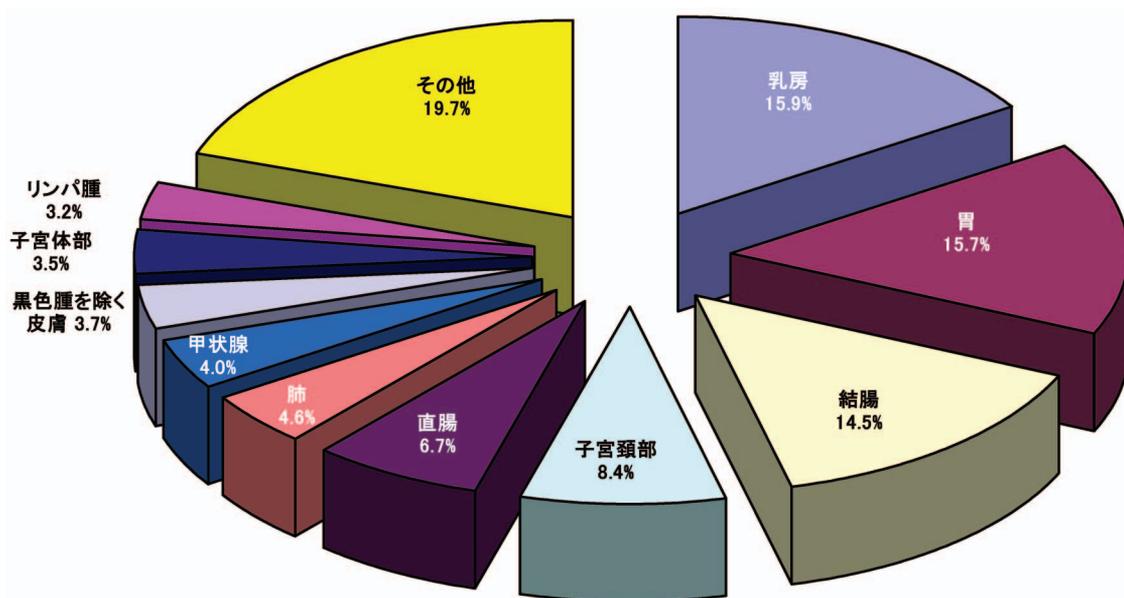
	登録数	割合（%）
結腸	2,325	34.2
子宮体部	1,299	19.1
皮膚	953	14.0
卵巣	512	7.5
結合織	370	5.4
直腸	269	4.0
胃	268	3.9
乳房	218	3.2
その他	578	8.5
合計	6,792	100.0

(2) 悪性腫瘍の部位別割合

(男性、2000年)



(女性、2000年)



(2) 悪性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合 (2000年)

(男性)

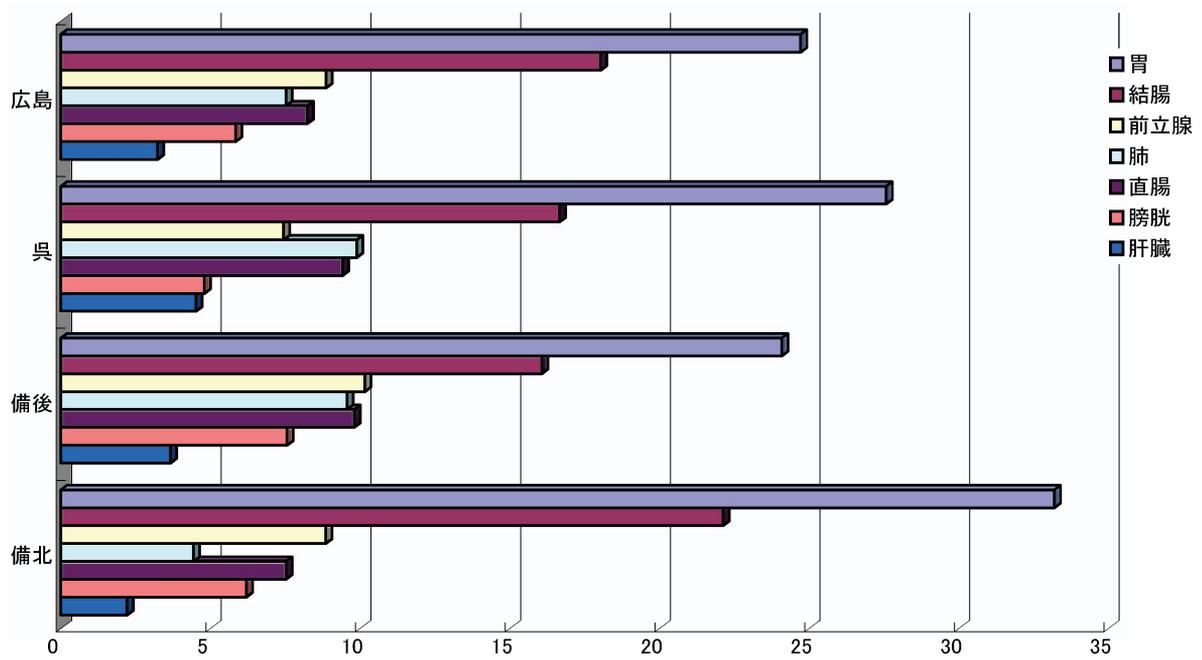
	登録数	割合 (%)
胃	1,728	
結腸	1,190	25.1
前立腺	605	17.3
肺	589	8.8
直腸	584	8.6
膀胱	388	8.5
食道	245	5.6
肝臓	232	3.6
腎	164	3.4
皮膚 (黒色腫を除く)	163	2.4
その他	992	2.4
合計	6,880	14.4

(女性)

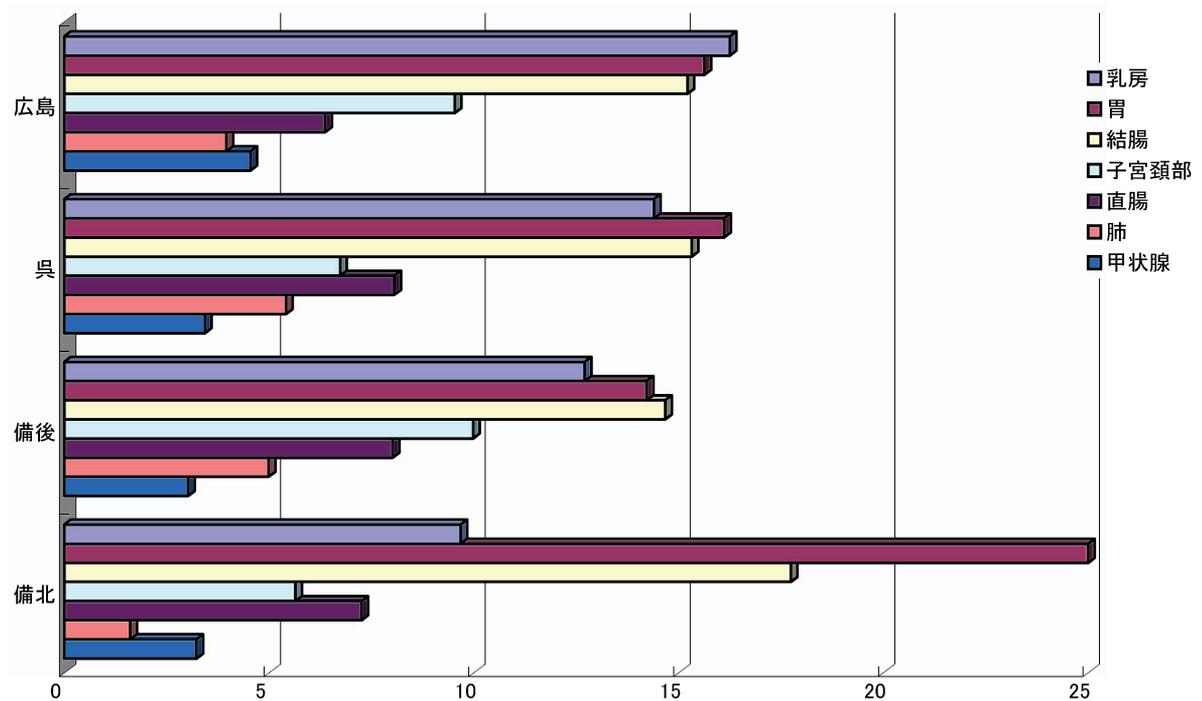
	登録数	割合 (%)
乳房	827	15.9
胃	814	15.7
結腸	754	14.5
子宮頸部	434	8.4
直腸	350	6.7
肺	241	4.6
甲状腺	208	4.0
皮膚 (黒色腫を除く)	190	3.7
子宮体部	182	3.5
リンパ腫	168	3.2
その他	1,021	19.7
合計	5,189	100.0

(3) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別割合の比較

(男性、2000年)



(女性、2000年)



(3) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別登録数と全体に占める割合の比較

(男性、2000年)

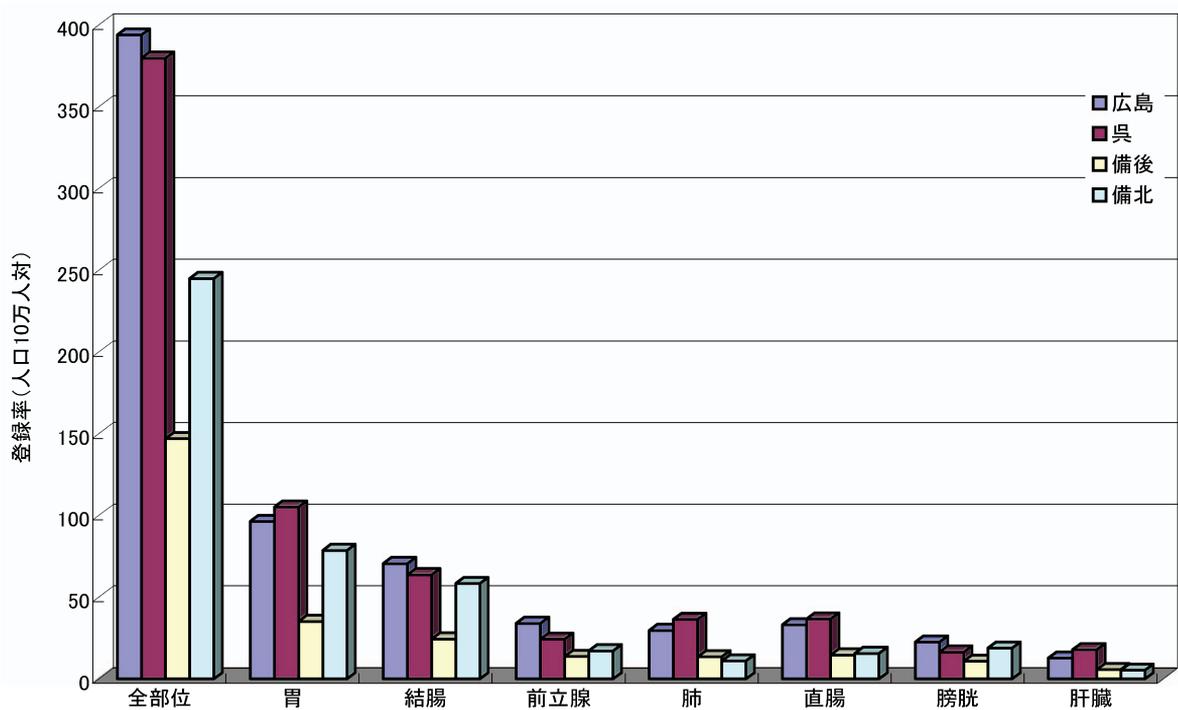
医療圏 部 位	登 録 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
胃	940 (24.7)	293 (27.6)	204 (24.1)	75 (33.2)
結 腸	686 (18.0)	177 (16.7)	136 (16.1)	50 (22.1)
前 立 腺	337 (8.9)	79 (7.4)	86 (10.2)	20 (8.8)
肺	286 (7.5)	105 (9.9)	81 (9.6)	10 (4.4)
直 腸	313 (8.2)	100 (9.4)	83 (9.8)	17 (7.5)
膀 胱	222 (5.8)	51 (4.8)	64 (7.6)	14 (6.2)
肝 臓	123 (3.2)	48 (4.5)	31 (3.7)	5 (2.2)
そ の 他	897 (23.6)	210 (19.8)	162 (19.1)	35 (15.5)
合 計	3,804	1,063	847	226

(女性、2000年)

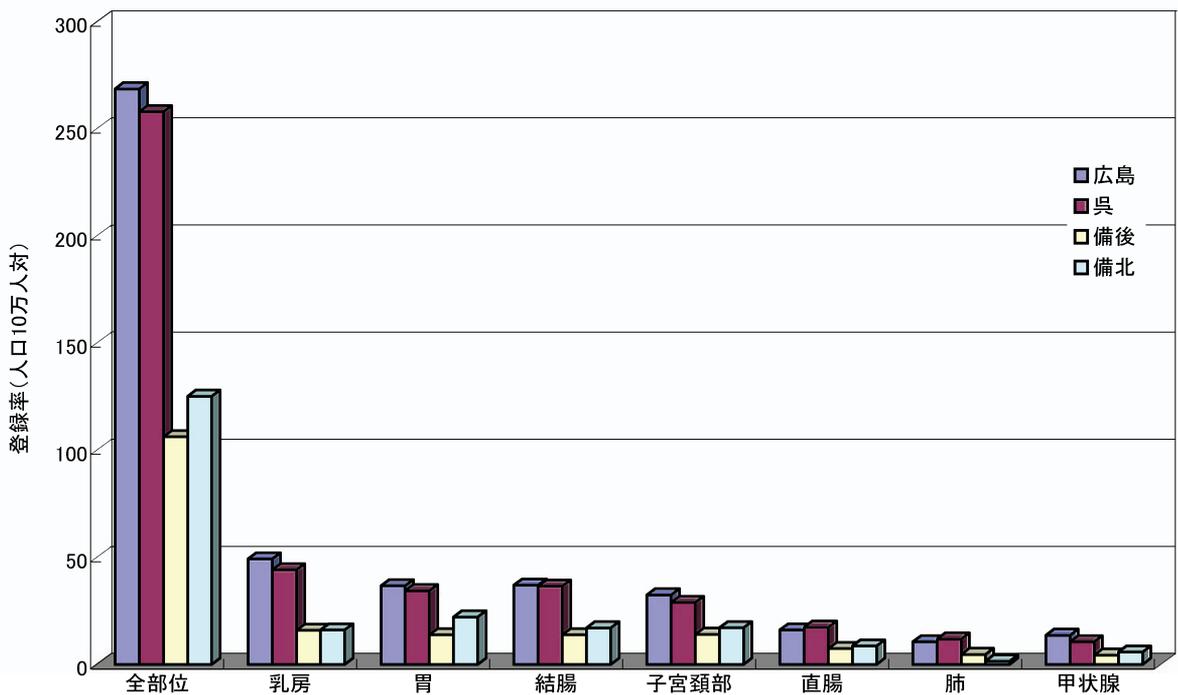
医療圏 部 位	登 録 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
乳 房	472 (16.3)	109 (14.4)	84 (12.7)	12 (9.7)
胃	454 (15.6)	122 (16.1)	94 (14.2)	31 (25.0)
結 腸	442 (15.2)	116 (15.3)	97 (14.7)	22 (17.7)
子宮頸部	277 (9.5)	51 (6.7)	66 (10.0)	7 (5.6)
直 腸	185 (6.4)	61 (8.1)	53 (8.0)	9 (7.3)
肺	115 (4.0)	41 (5.4)	33 (5.0)	2 (1.6)
甲 状 腺	132 (4.5)	26 (3.4)	20 (3.0)	4 (3.2)
そ の 他	827 (28.5)	231 (30.5)	214 (32.4)	37 (29.8)
合 計	2,904	757	661	124

(4) 広域医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数（人口10万人あたり）の比較

(男性、2000年)



(女性、2000年)



(4) 広域医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍登録数（登録率）の比較

(男性、2000年)

	全 部 位		胃		結 腸		前 立 腺	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	3,804	393.8	940	96.2	686	70.5	337	33.9
呉	1,063	379.6	293	105.0	177	63.6	79	24.2
備後	847	146.9	204	35.1	136	24.3	86	13.7
備北	226	244.8	75	78.5	50	58.2	20	17.1

	肺		直 腸		膀 胱		肝 臓	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	286	29.6	313	33.0	222	22.5	123	12.7
呉	105	36.3	100	36.5	51	16.3	48	17.7
備後	81	13.4	83	14.5	64	10.7	31	5.6
備北	10	10.9	17	15.5	14	18.7	5	5.2

女性、2000年)

	全 部 位		乳 房		胃		結 腸	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	2,904	268.5	472	49.2	454	36.6	442	36.9
呉	757	257.8	109	44.1	122	34.3	116	36.5
備後	661	106.2	84	15.9	94	13.8	97	13.8
備北	124	125.1	12	16.0	31	22.1	22	17.0

	子 宮 頸 部		直 腸		肺		甲 状 腺	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	277	32.4	185	16.0	115	10.5	132	13.6
呉	51	28.9	61	17.3	41	11.8	26	10.5
備後	66	14.0	53	7.4	33	4.6	20	4.3
備北	7	17.1	9	8.6	2	1.5	4	5.7

注) 登録率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

2000年の広島県悪性腫瘍死亡結果のまとめ

1. 悪性腫瘍死亡者数

- 1) 広島県における2000年の悪性腫瘍による死亡者数は男性4,334人、女性2,645人で、前年(1999年)に比べて男性は76人減少、女性は70人減少した。

2. 悪性腫瘍死亡の部位別割合

- 1) 男性では、肺がんによる死亡の割合が22.2%と最も大きく、次いで肝臓(18.5%)、胃(17.1%)、結腸(6.9%)であった。また、組織登録への提出数が比較的少なく、かつ予後が不良とされている膵臓・食道・胆嚢などの臓器の悪性腫瘍が上位10位以内に入っていた。
- 2) 女性では、胃(15.0%)、肝臓(12.4%)、肺(11.8%)の順であり、以下結腸、脾臓、乳房、胆嚢の順であった。
- 3) ちなみに、同年の全国統計では、男性が肺(21.8%)、胃(18.3%)、肝臓(13.2%)、大腸(11.1%)、女性は胃(15.3%)、大腸(13.8%)、肺(12.6%)、肝臓(8.9%)の順であった。

3. 広域医療圏別にみた悪性腫瘍死亡の部位別割合の比較

- 1) 広島・呉・備後医療圏について悪性腫瘍死亡の部位別割合をみると、男性では大きな地域差はみられなかったが、女性では呉医療圏で肺がん死亡の割合が胃がん死亡、肝臓がん死亡の割合より高かった。備北医療圏では、男性で胃がん死亡の割合が最も高く、女性で肺がん死亡の割合が最も高かった。

4. 広域医療圏別・部位別にみた人口10万人あたりの悪性腫瘍死亡数(死亡率)の比較

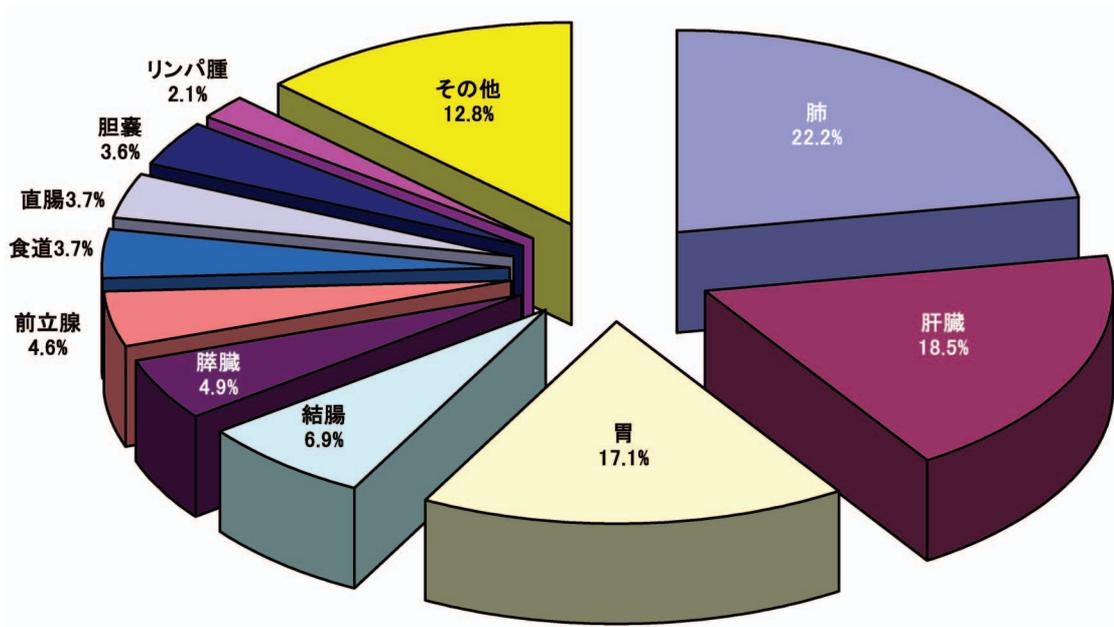
- 1) 1985年日本モデル人口を用いて求めた人口10万人あたりの死亡率(年齢調整死亡率)を広域医療圏別にみると、全部位では男女とも呉医療圏で最も高かった。
- 2) 広域医療圏別・部位別にみると、男性では肺がん、肝がんの死亡率は呉医療圏で、胃がん死亡率は備北医療圏で最も高く、女性では胃がんの死亡率は広島医療圏で、肝がんの死亡率は備後医療圏で、肺がんの死亡率は呉医療圏で最も高かった。

5. 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数および人口10万人あたりの死亡率(参考)

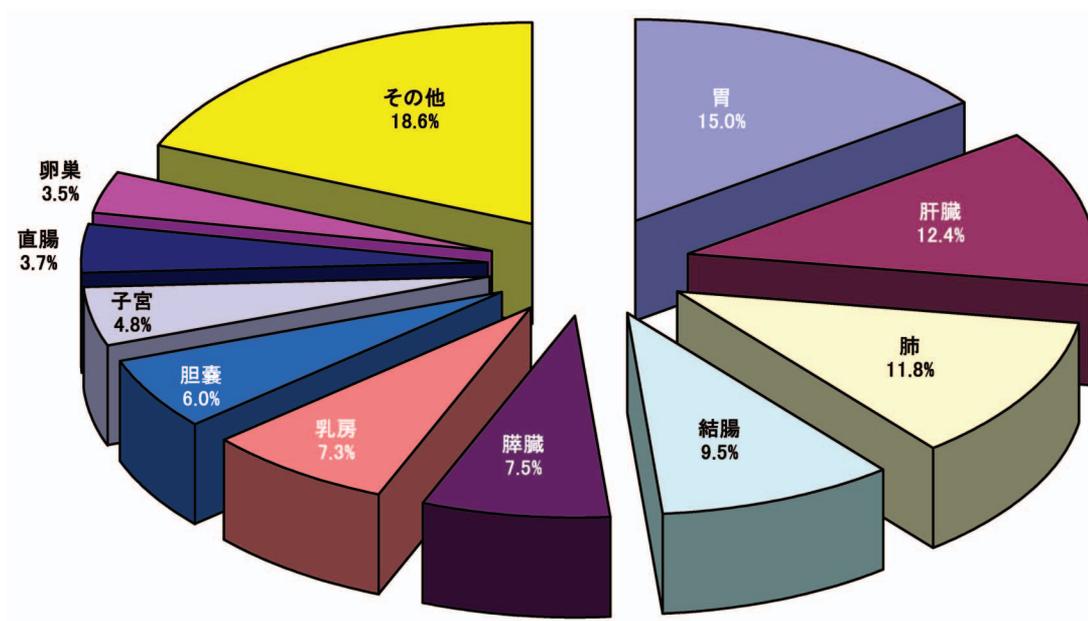
- 1) 広島県における悪性腫瘍死亡率(1985年日本モデル人口で調整)は、男性で人口10万人あたり215.6、女性で94.8であった。ちなみに、同年の全国値は男性214.0、女性103.5であった。
- 2) 部位別にみると、男性の肝臓がんの死亡率は広島県が全国を大きく上回っていた。女性でも肝臓がんの死亡率は全国の死亡率より高かった。

(1) 悪性腫瘍死亡の部位別割合

(男性、2000年)



(女性、2000年)



(1) 悪性腫瘍死亡の部位別死亡数と全体に占める割合（2000年）

(男性)

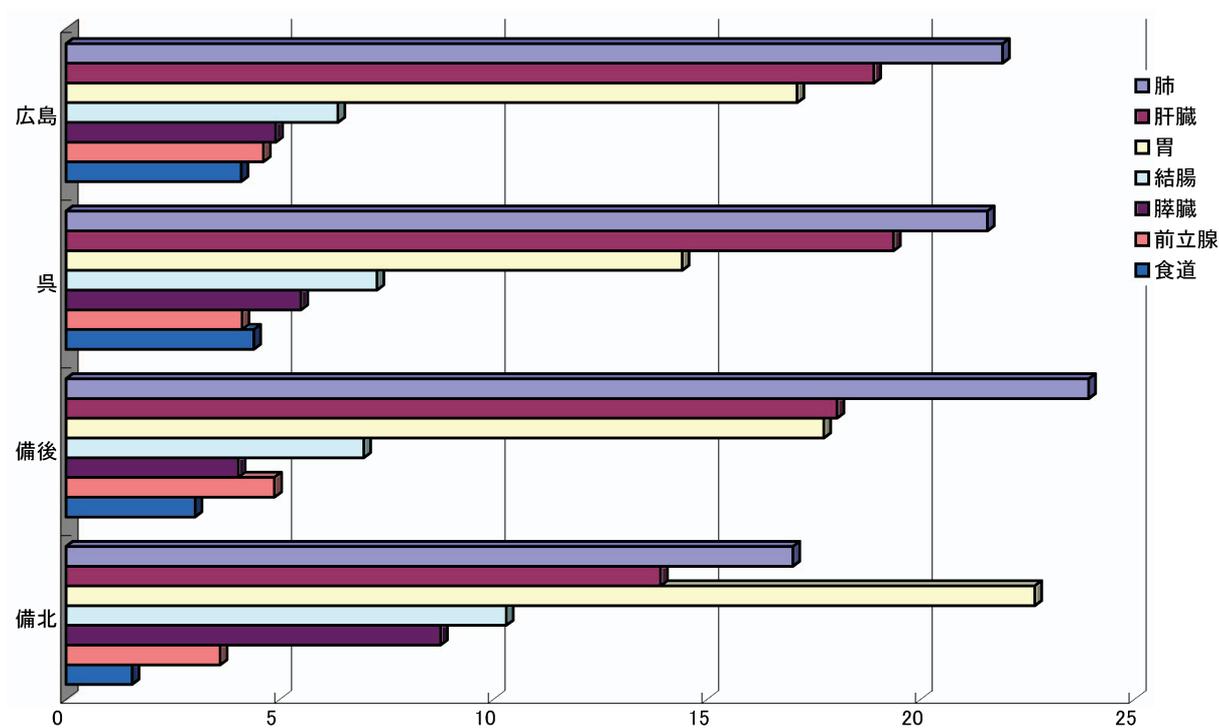
	死亡数	割合 (%)
肺	964	22.2
肝臓	802	18.5
胃	741	17.1
結腸	298	6.9
膵臓	213	4.9
前立腺	198	4.6
食道	161	3.7
直腸	160	3.7
胆嚢	154	3.6
リンパ腫	89	2.1
その他	554	12.8
合計	4,334	100.0

(女性)

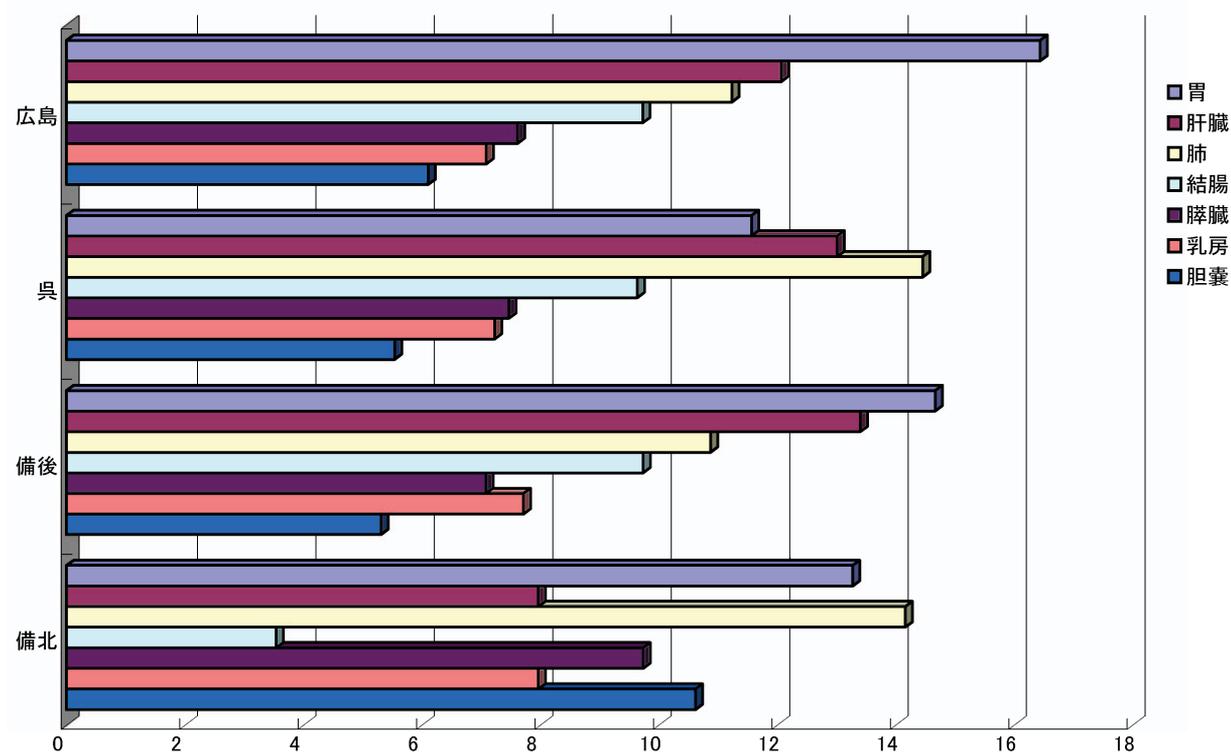
	死亡数	割合 (%)
胃	397	15.0
肝臓	329	12.4
肺	311	11.8
結腸	250	9.5
膵臓	199	7.5
乳房	194	7.3
胆嚢	158	6.0
子宮	127	4.8
直腸	97	3.7
卵巣	92	3.5
その他	491	18.6
合計	2,645	100.0

(2) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍死亡の部位別割合の比較

(男性、2000年)



(女性、2000年)



(2) 広域医療圏別にみた悪性腫瘍の部位別死亡数と全体に占める割合の比較

(男性、2000年)

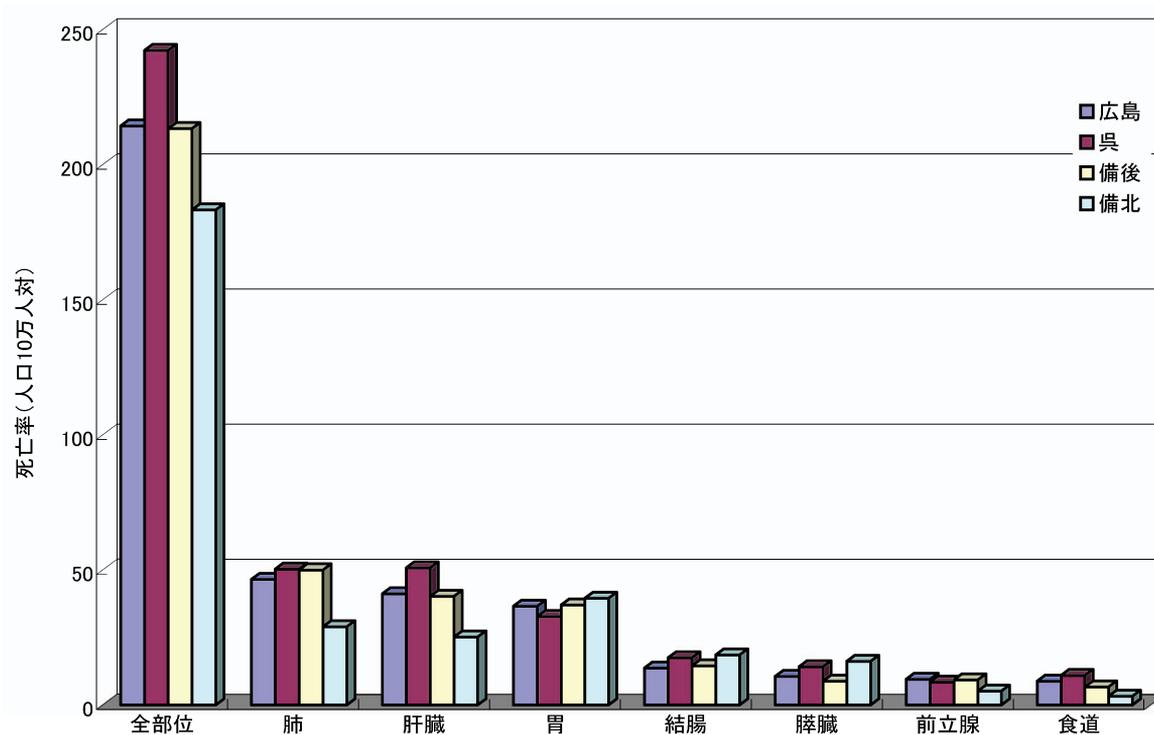
医療圏 部 位	死 亡 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
肺	465 (21.9)	157 (21.6)	309 (23.9)	33 (17.0)
肝 臓	401 (18.9)	141 (19.4)	233 (18.0)	27 (13.9)
胃	363 (17.1)	105 (14.4)	229 (17.7)	44 (22.7)
結 腸	135 (6.4)	53 (7.3)	90 (7.0)	20 (10.3)
膵 臓	104 (4.9)	40 (5.5)	52 (4.0)	17 (8.8)
前 立 腺	98 (4.6)	30 (4.1)	63 (4.9)	7 (3.6)
食 道	87 (4.1)	32 (4.4)	39 (3.0)	3 (1.5)
そ の 他	468 (22.1)	170 (23.4)	276 (21.4)	43 (22.2)
合 計	2,121	728	1,291	194

(女性、2000年)

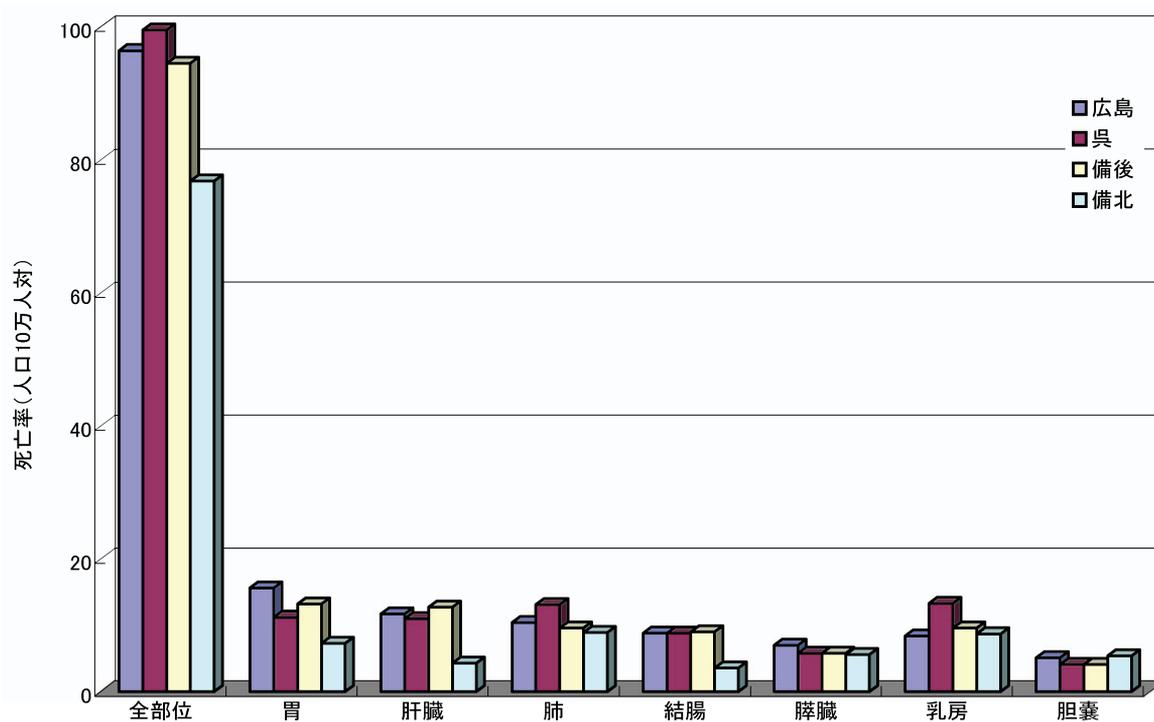
医療圏 部 位	死 亡 数 (%)			
	広 島	呉	備 後	備 北
胃	218 (16.4)	48 (11.6)	116 (14.7)	15 (13.3)
肝 臓	160 (12.1)	54 (13.0)	106 (13.4)	9 (8.0)
肺	149 (11.2)	60 (14.5)	86 (10.9)	16 (14.2)
結 腸	129 (9.7)	40 (9.6)	77 (9.7)	4 (3.5)
膵 臓	101 (7.6)	31 (7.5)	56 (7.1)	11 (9.7)
乳 房	94 (7.1)	30 (7.2)	61 (7.7)	9 (8.0)
胆 嚢	81 (6.1)	23 (5.5)	42 (5.3)	12 (10.6)
そ の 他	394 (29.7)	129 (31.1)	247 (31.2)	37 (32.7)
合 計	1,326	415	791	113

(3) 広域医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡率（人口10万人あたり）の比較

(男性、2000年)



(女性、2000年)



(3) 広域医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数と人口10万人あたりの死亡率の比較

(男性、2000年)

	全 部 位		肺		肝 臓		胃	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	2,121	214.3	465	46.5	401	41.2	363	36.5
呉	728	242.2	157	50.3	141	50.8	105	32.8
備後	1,291	213.3	309	50.0	233	40.2	229	37.0
備北	194	183.2	33	29.0	27	25.2	44	39.5

	結 腸		膵 臓		前 立 腺		食 道	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	135	13.7	104	10.6	98	9.5	87	8.8
呉	53	17.5	40	14.2	30	8.5	32	11.0
備後	90	14.5	52	8.8	63	9.3	39	6.7
備北	20	18.5	17	16.2	7	5.1	3	3.2

(女性、2000年)

	全 部 位		胃		肝 臓		肺	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	1,326	96.4	218	15.6	160	11.7	149	10.4
呉	415	99.5	48	11.2	54	11.0	60	13.1
備後	791	94.5	116	13.2	106	12.7	86	9.6
備北	113	76.8	15	7.3	9	4.3	16	8.9

	結 腸		膵 臓		乳 房		胆 嚢	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島	129	8.8	101	7.0	94	8.4	81	5.1
呉	40	8.8	31	5.8	30	13.3	23	4.1
備後	77	9.0	56	5.8	61	9.6	42	4.1
備北	4	3.6	11	5.6	9	8.7	12	5.4

注) 死亡率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

(参考) 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数および人口10万人あたりの死亡率

(男性、2000年)

	全 部 位		肺		肝 臓		胃	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	4,305	215.6	959	47.1	791	41.0	735	36.2
全 国	179,140	214.0	39,053	46.3	23,602	28.2	32,798	39.1

	結 腸		膵 臓		前 立 腺		食 道	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	298	14.9	211	10.7	198	8.9	158	8.1
全 国	12,139	14.4	10,380	12.4	7,514	8.6	8,706	10.4

(女性、2000年)

	全 部 位		胃		肝 臓		肺	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	2,629	94.8	397	14.1	328	11.6	307	10.3
全 国	116,344	103.5	17,852	15.3	10,379	8.8	14,671	12.3

	結 腸		膵 臓		乳 房		胆 嚢	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	247	8.5	199	6.5	194	9.3	157	4.7
全 国	11,498	9.5	8,714	7.2	9,171	10.7	8,240	6.3

資料) 人口動態統計

注) 死亡率は人口10万人対、1985年日本モデル人口で調整

2000年の広島県腫瘍登録の登録精度

広島県腫瘍登録事業では、従来の県内医療機関からの届出に加えて1998年より死亡小票情報に基づく悪性腫瘍症例の補完が可能となった。

2000年に広島県腫瘍登録に新規登録された悪性腫瘍総数は12,069件だが、県外居住者を除外し、地域がん登録で一般的に用いられる多重がん判定基準（注）を適用すると、広島県の悪性腫瘍（上皮内がんを除く）登録数は10,868件となった。さらに、この件数をベースに悪性腫瘍による死亡例6,979例を含めたがん登録統合作業を行うと、悪性腫瘍によって死亡したにもかかわらず広島県腫瘍登録に届出がなかった症例が3,391件確認され、登録症例10,868件と合わせて、同年の広島県における悪性腫瘍罹患数は14,259件となった。この3,391件がいわゆる DCO（Death Certificate Only）例で、悪性腫瘍罹患総数中の割合が地域がん登録の登録精度を示す指標となっている。

DCO は死亡するまで地域の腫瘍登録に届出されることのなかった症例と言い換えることができる。したがって、この割合が高いほど登録精度が不良であることを示す。2000年の広島県の DCO 割合は23.8%（=3,391/14,259）であり、全国30余の地域がん登録のものと比較しても、高くなかった。医療圏別の DCO 割合をみると、備後医療圏では46.8%を示し、他医療圏に比較して登録精度がかなり低いことがわかった。逆に、広島、呉医療圏の DCO 割合は20%前後で、広島県全体よりも登録精度は良好であった。

	広島県	広島	呉	備後	備北
罹患数	14,259	7,793	2,215	2,802	497
登録数	10,868	6,361	1,736	1,490	332
死亡数	6,979	3,447	1,143	2,082	307
DCO 数	3,391	1,432	479	1,312	165
DCO 割合 (%)	23.8	18.4	21.6	46.8	33.2

（広島全体における値と各医療圏における値の総和が一致しないのは、登録例および死亡例の詳細住所情報を欠くことによる）

（注）：地域がん登録で一般的に用いられる多重がん判定基準は複雑多岐にわたるが、1例を挙げれば、「術前生検と手術における病理組織診断が同一であれば1個のがんと判定する」、「尿路上皮がんの異所性再発は、複数のがんと判定せず、ひとつのがんと判定する」、「両側臓器のうち、両側卵巣に発生したがん（同一組織型）は1個と判定する」、「肝臓の複数の部位に発生した肝細胞がんは、1個のがんと判定する」などがある。

